学外研修報告

共通機器部門放射線管理技術班　笹谷 晋吾

ボイラー実技講習参加報告

1.目的

　蒸気は実験施設内で用いる滅菌から原子力等発電まで幅広く利用されている。このためその蒸気の基本的知識及び発生源となるボイラーの実務を学ぶことは普段従事している施設管理において有意義な知識・技術の習得が期待できることからこの講習に参加した．

2.期間・場所

　　期間：平成28年12月12日（月）～12月14日（水）

　　場所：中特会館（広島県広島市：12月12日（月）～13日（火）

福美人酒造（広島県東広島市：12月14日（水）

3.参加者等

　　約70名程度

4.研修内容

　・座学：ボイラーの燃焼の仕組み，付属設備及び附属品の取り扱い，ボイラー水の処理及び吹き出し，点検及び異常時の処置

　・実習：実機ボイラーにて現場実習及びボイラーモデル（シュミレータ）による運転操作実習

5.まとめと感想

今回の講習会では水が気体（蒸気）になるまでの挙動や特性及び圧力容器に関して幅広く学ぶことができた．また水配管や配線等の附属設備や機器の保守について，実習を通して自分の作業方法を改めて見直すことができ，新しい知見が得られた。今後は今回の講習で得られたことを糧に適正な施設管理に努めていきたい。